

# 臨床心理学

専門教育科目 / 4 単位 / T 授業

担当教員 前田 直樹

■使用テキスト 坂野雄二他(編)『臨床心理学』有斐閣

◆参考テキスト 氏原寛他(編)『心理臨床大事典』培風館 1992  
上里一郎(編)『心理アセスメントハンドブック』西村書店 1993

## 講義概要・一般目標

臨床心理学は、人のこころを正常と異常に分けるとすれば、異常の面を対象にする学問である。もっと具体的にいうと、人の心の病気や不健康な面、さらには、問題行動とか不適応行動を扱い、それらがどのようにして生じるのか。それらに対して、どのように対処するのかを中心にして、展開していく。

心の病気と言われるものには、どのようなものがあるか。発達段階から、その特徴を捉える。臨床心理学においては、心理検査としては、発達検査、知能検査そして性格検査などを取り扱う。おもに面接を通して心理アセスメントを行い、カウンセリングにつなげていく。対象は、おもに個人であるが、集団、家族、学校そして地域もその対象になる。特に学校臨床においては、一般児童や障害児の社会的スキルをとりあげる。最後は、臨床心理学と関連の深い健康心理学を取り上げる。

## 到達目標

- 1) 臨床心理学を構成する様々な理論を理解する。
- 2) 臨床心理学で用いられるアセスメントの方法について理解する。
- 3) カウンセリングや心理療法で用いられる基本的な技法を理解する。
- 4) 臨床心理学が扱う心の病についての知識を身に付ける。
- 5) 臨床心理学的知識と技法が用いられる様々な領域について理解する。

## 評価方法

科目単位認定試験により評価。

## 学習指導

### 第1章 臨床心理学の基本的発想

この章のポイント

この章は、臨床心理学について最も大切なことが書いてあるので、精読して欲しい。理解しづらい時は、他の関係書を参考にすることである。ここでは、まず、臨床心理学の定義、対象そして課題について述べる。そして、現代の臨床心理学の代表的な学派について解説する。臨床心理学の研究の進め方、心理診断のポイントそして治療技法の適用と続く。

### 第2章 臨床アセスメントの方法

この章のポイント

この章は臨床心理アセスメントについて解説する。アセスメントは、査定、評価または心理診断と考えてよい。面接によるアセスメント、心理テストによるアセスメント、そこでは、性格検査、知能検査、発達検査などについて説明する。

### 第3章 臨床面接の進め方

#### この章のポイント

ここでは、発達段階ごとに面接の進め方について述べる。すなわち幼児・児童期、青年期そして成人期のそれぞれの具体例を取り上げ、問題や症状の記録、心理診断、治療や指導の仕方について概説する。

### 第4章 臨床心理学の対象

#### この章のポイント

乳幼児期、学童期、思春期、青年期、成人期そして老年期に至る生涯発達の各段階における代表的な心理学的問題にはどのようなものがあるかを概観し、そうした問題をどのように理解したらよいか、また、それらの問題に対してどのような対処法があるかを具体的に探る。

### 第5章 臨床アプローチの形態

#### この章のポイント

臨床心理学では、色々なところで心理的援助を行うことになる。個人、家族、学校、職場さらには地域社会という4つの場において、どのような臨床的アプローチが可能かを考え、その基本的視点とさまざまな介入法の意義、効果さらには限界について考える。

### 第6章 学校教育臨床の展開

#### この章のポイント

最近の学校臨床は、不登校をはじめ、いじめ、社会性の欠如、場面かん黙など人間関係が関わって生じている問題が多い。ここでは、学校教育への臨床心理学のかかわりの実際、学校教育臨床の特徴、学校教育との豊かなかかわりの形成していく上での留意点などを考える。

### 第7章 子どもの社会的スキル訓練

#### この章のポイント

子どもの対人関係の改善を目指す社会的スキル訓練（SST）について解説する。社会的スキル訓練は、子どもばかりでなく、精神障害のクライアントに対しても用いられている。ここでは、社会的スキル訓練の進め方について具体的事例をあげて学ぶ。

### 第8章 障害児への取り組み

#### この章のポイント

心や身体に何らかの障害を抱えている子どもたちは、その障害固有の問題に加えて、そこから2次的に生じた様々な問題を持っている。これらに焦点をあてて、彼らの社会的適応を高めるために、臨床心理学はどのような貢献が出来るかについて考える。

### 第9章 臨床心理学から健康心理学へ

#### この章のポイント

臨床心理学は、「床に臨む」に示すように心を病むクライアントへの心理的援助が主要な課題であった。しかし、そればかりでなく、心の病にならないように、その予防も大切な課題である。

さらには、心の健康の維持と増進を念頭においた心理学的援助、また心身の諸問題のリスクファクターの解明に関する研究やストレスに関する研究なども視野において解説する。